

⑥ 農業きょうどう組合の役わり

- ようさんのしどうをしてくれる先生をたのむ。
- ひりょうやのうきぐをまとめてやすく買い、のう家に売る。
- ようさんにつかう道ぐを買うお金にこまっているとき、お金をかしてあげる。
- 工場からかいこのたねを買ってきて、しいくじょでそだてて、のう家にわたす。
- のう家があん心してまゆを作れるように、工場とまゆを買ってもらうやくそくをする。
- まゆをのう家からあつめて、工場にしゅっかする。
- まゆのだい金を工場からあずかり、のう家にわたす。

⑦ 農家のおじさんの話

三春町ではむかしからようさんがさかんで、たくさんのかいこ小屋があったし、くわ畑も今よりももっといっぱいあったんだよ。でも、このごろは、中国産のきぬせいひんが安くゆにゆうできるためと、かいこのせわにととてもまがかかるために、しだいにへってきてしまったんだ。

かいこは生きものだから、びょうきになるとたいへん。それにかいこ小屋の温度かんりもわすれずにしなければならない。それだけじゃなく、くわ畑の手いれもたいせつなしごとなんだ。くわをかいこに1日4回食べさせるんだけど、くわがびょうきになると、それを食べるかいこもびょうきになってしまうし、春先のしもの害も心配なんだよ。

こんなふうには、てまのかかるしごとだから、しだいにようさんをやる農家がへってきているし、わかい人でやる人がいないことがなやみなんだよ。